

平成30年度予算見積調書

課室名：就業支援課
 担当名：就業・求人相談担当
 内線：8265650
 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B111	埼玉版ハローワーク推進事業			一般会計	労働費	労政費	雇用促進費	埼玉版ハローワーク推進事業		
事業期間	平成24年度～	根拠法令	雇用対策法第5条、第31条、職業安定法第29条			宣言項目	08 稼ぐ力の向上			
					分野施策	030727 就業支援と雇用環境の改善				
1 事業の概要				5 事業説明						
「ハローワーク浦和・就業支援サテライト」において国と一体的に実施する求職者支援に加え、地方版ハローワークとして県内企業に対する求人充足支援を強化することにより、県内求人・求職者マッチングを一層進める。 (1) 埼玉版ハローワーク運営費 81,140千円 (2) 求人・求職者マッチングサポート事業 101,837千円 (3) 生活・住宅総合相談コーナー運営費 4,902千円 (4) 企業人材確保支援事業 33,547千円 (5) マッチング機会の拡大事業 295千円 (6) 駐留軍関係離職者再就職助成金 30千円				(1) 事業内容 ハローワーク浦和・就業支援サテライトにおいて就職支援及び企業支援を行い、求人・求職者のマッチングを進める。また、新規求人の多い西部地域に新たな企業支援施設を設置し、国・市と連携して企業の人材確保を支援する。 (2) 事業計画 ア ハローワーク浦和・就業支援サテライトにおける総合受付等の運營業務を行う。 イ 求職者及び県内企業への支援サービスを実施し、求人・求職者マッチングを行う。 ウ 生活・住宅総合相談を実施する。 エ 川越を拠点に新たに企業の人材確保を支援する。 オ レインボー面接会を県東部、西部、北部でも開催し、関連セミナーを開催する。 カ 駐留軍関係者離職者に再就職助成金を支給し、再就職の促進を図る。 (3) 事業効果 ハローワークコーナーとの連携や、マッチング強化により求職者の就職が実現するとともに、県内企業の求人充足を支援することにより、地域経済が活性化する。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 国との一体的実施により、ハローワークコーナー（マザーズ、新卒応援含む）を設置 国・市の一体的実施施設である「川越しごと支援センター」と連携して、企業の人材確保を支援する。 (5) その他（施設概要） 【名称】 ハローワーク浦和・就業支援サテライト 【場所】 さいたま市南区沼影1-10-1 ラムザタワー（武蔵浦和合同庁舎）3F 【開設】 平成24年10月29日 【実績】 (28年度) 利用者数：60,450人、就職者数：4,986人 【利用時間】 ・若者コーナー／ミドルコーナー／シニアコーナー／女性コーナー／求人情報ライブラリー 月～金10:00～19:00 土10:00～17:00 ・ハローワークコーナー／マザーズコーナー／新卒コーナー／わかもの支援窓口 月～金10:00～19:00 ・生活・住宅総合相談コーナー／福祉人材就職コーナー 【新施設概要】 ウェスタ川越内に企業支援施設を開設。川越しごと支援センターを誘致し、国・県・市の3者が一体となって事業を実施						
2 事業主体及び負担区分										
県(10/10) ※ハローワークコーナーは国負担										
3 地方財政措置の状況										
特別交付税（地方版ハローワークに要する経費） [(2) 、 (4)]										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
9,500千円×11.0人=104,500千円 就業・求人相談担当（川越駐在）+ 2人										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
決定額	221,751	諸収入	2,206					219,545	33,345	
前年額	188,406		2,284					186,122		